

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「生命誕生とかけがえのないいのち」

魚津市立村木小学校

平成23年11月16日実施

水井先生は、魚津市立上中島小学校（平成23年10月26日）、魚津市立上野方小学校（平成23年10月28日）、富山市立神保小学校（平成23年11月11日）、富山市立神明小学校（平成23年11月24日）においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

水井 雅子先生

- ・みずい母乳育児相談室、助産師、保健師
- ・IBCLC（国際ラクテーションコンサルタント）

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」のお話
- 2 お母さんや赤ちゃんとの触れあいタイム
- 3 育児中のお母さんのお話
- 4 「いのちの先生」のお話

〇〇へ

〇〇を産む時は、すごく痛くて「もう赤ちゃん産みたくない」と思いました。でも、〇〇を育てていると、とてもかわいくて楽しかったので、弟が二人できました。〇〇が、元気に産まれてくれて、いい子に育てくれたおかげです。ありがとう。 母より

お母さんへ

今日は、いのちの授業がありました。この授業を受けて、お母さんが、わたしを産む前や後に苦労したことが分かりました。でも、お母さんは、その苦労を乗り越えたので、わたしも、お母さんみたいに強くなりたいです。そして、元気な赤ちゃんを産みたいです。〇〇より



〇〇へ

妊娠8ヶ月くらいまで、大きなお腹で仕事に通っていました。時々、つらいこともあったけど、お腹の赤ちゃん（〇〇）と一緒に頑張っていると思うと、心強く力がわいてきました。出産の時は、へその緒を首に巻いていて、なかなか出てきてくれませんでした。生まれてきてくれた時は、嬉しくて涙が止まりませんでした。 母より



お母さんへ

わたしは、命の授業を受けて、赤ちゃんが生まれるのは大変なんだと、あらためて思いました。お母さんが、わたしのことを命がけで産んでくれてうれしいし、感謝しています。これからも生きていくことに感謝し、お母さんや家族にも感謝していきます。〇〇より